

取組

「地域医療」とは、病院などの医療機関での治療やケアの枠組みにとらわれず、地域住民が安心して暮らすことができるよう、地域住民の健康を支える医療体制のことです。医療従事者が主体となり、地域住民に対して疾病の予防や健康維持・増進のための活動を行っています。現在は地域包括ケアシステムに基づき、在宅療養や地域に住む高齢者、障がい者への支援活動、妊婦への保健指導や相談、子育て支援なども行われています。

多岐にわたる地域医療の取組みから、一部を抜粋してご紹介します。

「地域医療」が担うもの

救急医療

救急医療とは、突発的な事故によるけがや、予期せず発生した病気に対応するための医療全般を指します。症状の重さに応じて初期救急、二次救急、三次救急の3段階に分かれて対応します。

救急医療は限りある資源です。本当に必要な時に安心して利用できるよう、体調に不安を感じたら、昼間の診療時間内にかかりつけ医を受診しておきましょう。

ですが、本当に必要な時は、ためらわずに「119」で救急車を要請してください。

休日・夜間の急なけが・病気で電話で相談できます

家庭での対処方法や受診の必要性について、看護師が相談に応じます。広報きたもとにも毎月掲載しています。

救急相談・医療機関案内
#7119

※IP電話、ダイヤル回線、PHSの場合は
048-824-4199

三次救急

対応できる症状
生命の危機に瀕するけがや急病

受診方法
救急車・ドクターヘリによる搬送

対応する医療機関
さいたま赤十字病院
埼玉医科大学総合医療センター など

二次救急

対応できる症状
入院・手術が必要な病気やけが

受診方法
救急車・自家用車等による搬送

対応する医療機関
北里大学メディカルセンター
桃泉園北本病院 など

初期救急

対応できる症状
軽い病気やけが

受診方法
医療機関の外来へ直接

対応する医療機関
休日当番医・小児初期救急

周産期医療

母体・胎児や新生児の生命に関わる事態が発生する可能性が高い妊娠22週から出生後7日未満までの期間を「周産期」と呼びます。

産後安心して地域で過ごせるよう、産科や小児科、市が連携を図っています。

災害医療



多数傷病者受入訓練の様子

大規模な災害などが発生した場合、市は「緊急医療救護所」を各地域に設置し、医療機関等と連携してトリアージ（傷病の重症度等に応じた治療優先度の決定）を行います。その後、重症度などに応じて病院等への搬送を行います。こうした災害医療の地域ごとの中核となる病院を、県が災害拠点病院に指定しています。

人物 北里柴三郎

細菌学者・近代日本医学の父

北里柴三郎は1853年に現在の熊本県小国町で誕生しました。東京医学校で予防医学の道へと進むと、卒業後は内務省衛生局でコレラの原因菌の究明に大きく貢献。その後はドイツに渡り、破傷風研究の中で血清療法を確立する等、細菌学者として世界での地位を築きました。

帰国後は伝染病研究所の所長に就任し、当時香港で流行していたペスト菌を発見。予防法を指導し、日本におけるペスト感染拡大を終息に導きました。

「病気を未然に防ぐことが医者の使命」との信念のもと、予防医学を実践した北里は、近代日本医学の父といわれます。

また、北里は「研究の成果は広く国民のために役立てられるべきである」と医学を社会に還元する「実学の精神」の重要性を説いた人物でもあります。

1914年には日本初の私立医学研究機関となる北里研究所を設立。晩年は福沢諭吉の志を継いで教育分野にも注力し、人材の育成に努めました。

コラム



お札の“肖像画”はどうやって決まる？

お札の肖像の選び方に法令などで決められたルールはありませんが、おおよそ以下の理由で選定されます。

- ①偽造防止のため精密な写真が入手できること
- ②品格のある紙幣にふさわしい肖像であること
- ③国民に広く知られ、業績が広く認められている人物であること

この3点を満たすため、多くは明治時代以降の人物が選ばれています。また、新しいお札の肖像画は、複数の写真を参考に、国立印刷局の工芸官が専用書き起こしたものです。

改刷（お札のデザイン変更）の頻度はまちまちですが、近年ではおおよそ20年ごとです。今回の北里柴三郎氏の肖像画が採用された新紙幣は、これから日本を象徴するものとして長く使用されます。（紙幣画像：財務省ホームページより）

私たちが皆で支える医療

医療機関を利用する私たちの行動が、地域医療を支える大きな力になります。今後も安心して治療を受けるために心掛けた行動を紹介します。

- ①まずはかかりつけ医に
体調に不安を感じたら、昼間の診療時間内に診療所・医院を受診しましょう。身近に「かかりつけ医」を持つことで、より適切な治療やアドバイスを受けることができ、病気の予防や早期発見・治療にもつながります。
- ②やむを得ず休日・夜間に受診する際は当番医へ
休日当番医は広報きたもと、新聞各紙に掲載しています（今月号は14ページに掲載）。
- ③日頃から健康管理を心掛ける
食事や適度な運動などの健康管理や健康診断の受診を心掛け、病気やけがの予防に努めましょう。

Let's try!

7月3日、20年ぶりに新しい日本紙幣が発行されます。中でも千円札に採用された偉人、「北里柴三郎」は、北本市内の病院、北里大学メディカルセンターを運営する北里研究所の創始者であり、ゆかりの深い人物です。今回の特集では、北里柴三郎と地域医療の今を紹介します。

北里柴三郎記念博物館提供